

Topic3 鹿児島総合警備保障株式会社が
消毒液を寄贈



8月21日、鹿児島総合警備保障株式会社から消毒液10箱等が寄贈され、健康センターで贈呈式が行われました。

警備司令長の鳥井ヶ原良さんは「県内で

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していますが、これ以上の感染拡大を防ぐために役立ててほしいです」と話しました。

寄贈された消毒液は、市の公共施設で使用される予定です。

Topic4 ライオンズクラブが消毒液・オートディスペンサーを寄贈



社会奉仕活動の一環として、9月3日に枕崎ライオンズクラブから消毒液20箱と消毒液を自動で噴出するオートディスペンサー30台が寄贈されました。

同クラブ会長の中村広典さんは「子どもたちのために何かできないかとの思いで寄贈させていただきました。今回寄贈したものを活用し、新型コロナウイルス感染症の対策につなげてほしいです」と話しました。

今回寄贈された消毒液は市内の小・中学校及び高校に2箱ずつ、また、消毒液オートディスペンサーは各学校に3台ずつ配布されました。

Topic5 枕崎中学校で男女共同参画講座を開催



9月15日と24日にワークショップデザイナーの高崎恵さんを講師に招いて、枕崎中学校の生徒を対象に、男女共同参画講座が開催されました。

講座では、お互いの違いを認識する多様性ワークショップが行われ、他人の個性や自分との違いを尊重することの大切さを学びました。

高崎さんは生徒に「1人1人の違うアイデアを大切にしながら、違いを重ね合わせて、新たなアイデアをつくってほしい」と話しました。

Topic1 養護教諭、市保健師等が
LGBTについて学ぶ



8月19日、市内養護教諭夏季自主研修会が市民会館で開催され、市内の小・中学校や高等学校の養護教諭、市保健師等がLGBT(性的少数者を表す言葉)の基本的なことについて理解を深める研修が行われました。

講師を務めたレインボーポータル向日葵の正貴さんは、自身の体験を踏まえながら「男だからこうでないといけない、女だからこうでないといけないということはない。違いは間違いではない」と多様性への理解を参加者に話しました。

Topic2 市内の功労者・功労団体を表彰



令和2年度全国少年補導功労者表彰において、中村道雄さん(写真左)が少年補導栄誉銀賞を受賞し、伝達式が8月21日に行われました。中村さんは、長年にわたり少年補導員として少年の非行防止に尽力し、健全育成に貢献しました。

中村さんは「このような賞を受賞して恐縮です。これからも身の回りの小さなことにも気を付けて生きていきたいです」と話しました。

また、令和2年度九州少年警察ボランティア連絡協議会少年補導等功労団体表彰を立神地区防犯パトロール隊が、令和2年度鹿児島県少年警察ボランティア連絡協議会少年補導者表彰を上木原貢さん(写真右)がそれぞれ受賞し、同日、伝達式が行われ、賞状が手渡されました。



12月21日までに妊娠届出を行った妊婦と、小学校2年生以下の小児を対象に、次のとおりインフルエンザ予防接種の費用助成を行います。

接種期間 10月1日(木)～12月31日(木)(医療機関の診療時間内)

対象者

① 12月21日までに妊娠届出を行った妊婦

② 平成24年4月2日から令和2年4月1日までに生まれた小児

①、②のうち、インフルエ

妊婦と小学校2年生以下の小児を対象に
インフルエンザ予防接種費用を一部助成

予防接種

ンザ予防接種を希望する方
助成額

① 妊婦は、1人1回2000円まで

② 小学校2年生までの小児は、1回10000円を2回まで

個人負担金 接種料金から助成額を差し引いた金額

接種場所 本市と契約した医療機関

注意事項

① 接種の際は、対象者に郵送するインフルエンザ予防接種予診票と母子健康手帳をご持参ください。なお、転入者等で通知の届いていない方は、健康センターへお問い合わせください。

② 今年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、日本感染症学会が接種を推奨している方々のうち、妊婦と小学校2年生以下の小児に対して、助成を行うものです。

問合せ 健康センター TEL 727176

今月は3R推進月間・食品ロス削減月間です

本市では現在1人1日約1,100gのごみを排出しており、ごみの減量化が課題となっています。そこで1人1日当たりのごみ排出量を50g削減することを目標とし、枕エコサポーターの募集を行い、ごみ減量化の取り組みを行っています。

内鍋清掃センターにおけるごみ処理経費は1kgあたり約14円となっており、市民全員が1日当たりのごみ排出量を50g削減できた場合は、年間で約500万円の経費が削減できます。

この期間を機に普段の生活を見直し、ごみ削減のためにできること、変えられることを考え、実践してみましょう。

【3Rについて】

3Rは限りある資源やエネルギーを有効活用し、環境への負荷を軽減する「循環型社会」実現のためのキーワードです。

■Reduce(リデュース)

ごみの発生抑制のことで、ごみそのものを出さないことです。

・買い物の際はマイバッグを持参し、レジ袋を使用しない。

■Reuse(リユース)

ものを再使用することです。まだ使えるものは、別の使い方を考えましょう。

・不要になった服をリフォームしたり、必要な人に譲ったりする。

■Recycle(リサイクル)

資源となるものを分別回収し、もう一度資源として活用したり、不要になったものを他のものに転用して使ったりすること。

・ごみの分別を正しく行う。

【食品ロスについて】

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨ててしまわれている食品のことで、日本では年間600万トン以上の食品ロスが発生しています。国民1人当たりお茶碗一杯分の食品を毎日捨てている計算になります。

■食品ロス削減のためにできること

【買すぎに注意】

買い物に行く前に、冷蔵庫をチェックし必要なものだけ買いましょう。

【作りすぎに注意】

食べきれなかった場合は、他の料理に作り替えるなど工夫しましょう。

【食材の使い切り】

野菜など傷みやすい食品は早めに使い切りましょう。

【適量を注文】

外食・宴会時は食べ切れる量を注文しましょう。

【3010(さんまるいちまる)運動】

宴会の際は最初の30分間は料理を楽しみ、最後の10分間は自分の席に戻って残さず食べるようにしましょう。